

(1) 平成22年度・学校経営計画

建学の精神 ・ 綱領 ・ 校訓

- 建学の精神
「正己以格物」
人格、徳性の涵養並びに知性を錬磨し、社会の要請に応える。
- 綱領
高く志を立て、広く知を求め、深く理を探り、正しく生きる。
- 校訓
開拓
心身の鍛錬を図ることにより、健全でたくましい実践力を養い未来を開拓する人間を育てる。
創造
豊かな知性と情操を養い、個性・能力を伸ばすとともに、文化遺産を継承し、時代にふさわしい文化を創造する人間を育てる。
協力
自ら努力を重ねるとともに、互いに人格を重んじ、他人と協力して社会の発展に貢献する人間を育てる。

目指す学校像（中・長期的展望）

生徒の希望進路実現に邁進し、県内随一の私立進学校としての矜持を保持する。

- (1) 「育てる」教育の目標の下、生徒一人ひとりの夢により添い、その夢の実現にむけて、全校一丸となって取り組む学校をめざす。
- (2) 確かな学力と豊かな人間性を基盤として、誠実で気概があり、品位のある人間を育てる学校をめざす。
- (3) 校内外の活動に積極的な参加を奨励し、生徒が自信と誇りを持って通学できる学校をめざす。
- (4) 地元国公立大学並びに旧帝大クラス、著名私立大学へ毎年複数の合格者を出すとともに、40周年にむけて東大クラスへの合格者を出せるよう、学校力の向上に努める学校をめざす。

平成22年度の学校目標

- (1) 確かな学力と豊かな人間性を養い、生徒一人ひとりの希望進路実現のため、常に良質な教育活動を展開する。
- (2) 明るく節度ある学校生活の下、生徒に安心と安全を保證できる教育環境の整備と維持に努める。

平成22年度の指導の重点

- (1) 学習指導の充実
 - ・ 生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力の向上を図る。
- (2) 生活指導の徹底
 - ・ 明るく節度を弁えた生徒を育てる。（挨拶、品位ある服装、時間厳守）
- (3) 進路指導の充実
 - ・ 生徒一人ひとりの能力を的確に把握し、計画的・組織的な進路指導を実施する。
- (4) 特別活動の振興
 - ・ 学校生活にうおいと喜びを見出し、人間力の向上を願って、特別活動への積極的な参加を促す。
- (5) 研修の充実
 - ・ 教師は常にその資質と指導力の向上に精励し、一致協力して学校力の向上を図る。

平成22年度の校務分掌の重点目標・具体的な取組

教務部

- 重点目標
新学習指導要領の実施・入試制度変更にもなう校内における教育計画の改訂・整備をすすめる。
- 具体的な取組
 - ・ 総合的な学習の時間、道徳教育、特別活動については、関連する分掌と連携しながら全体計画を作成し、実施内容の整備を図る。
 - ・ 調査書の様式変更に対応するために、作成システムの変更を行うとともに、出願に遺漏がないように周知を図る。
 - ・ センター試験の新方式に対応するために、教育課程表の一部変更を行う。
 - ・ 平成24・25年度入学生に対応するために、教育課程表の改訂に着手する。

企画部

- 重点目標
入学者250名（定員）を確保する。
- 具体的な取組
 - ・ 広報活動を充実させるために、本校ホームページの内容を充実させ、更新を迅速に行うことを継続する。
 - ・ 中学生・保護者に本校を知ってもらう体験イベントの参加者を多く確保する。体験入学1000名、受験講習会500名。

管理部

- 重点目標
安全な施設の提供と安心して学べる環境の整備をすすめる。
- 具体的な取組
 - ・ 施設・設備の日常点検・整備を進める。
 - ・ 図書の実用と読書の啓蒙、視聴覚教材の充実と活用を進める。

生徒指導部

- 重点目標
服装容儀の徹底を図る。
- 具体的な取組
 - ・ 登校時の玄関指導を各学年で実施する。
 - ・ 毎月の月末に各クラスの「状況調べ」を実施する。
 - ・ ポスター・新聞などを用い、生徒会による呼びかけを行う。
- 重点目標
特別活動を充実させる。
- 具体的な取組
 - ・ 生徒会行事のレベルアップを図る。
 - ・ 生徒会のリーダーシップを養成する。
 - ・ 二高祭の一般公開を目指し、明るい校風づくりを推進する。
 - ・ 予算の工夫や中学校との連携を通して、部活動の活性化を図る。

進路指導部

- 重点目標
進路指導に関連する項目の関連性を深める。
- 具体的な取組
 - ・ 学習指導項目（模試・講習・ゼミ・合宿）のガイドラインを整備する。
 - ・ 進路指導項目（講演会・ガイダンス・LHR）の体系化を進める。

保健部

- 重点目標
3年生の麻疹予防接種率を90%以上に高める。
- 具体的な取組
 - ・ 学年集会の場で保健部から予防接種の必要性を訴える。
 - ・ 「学年だより」の中に接種呼びかけの記事を載せる。
 - ・ 保健室からアンケート結果をもとに未接種の生徒に呼びかける。

渉外部

- 重点目標
PTA行事や各種委員会活動への参加率を向上させる。
- 具体的な取組
 - ・ 案内文書の適切かつ確実な配布時期の設定。
 - ・ 出身中学校別PTA委員・役員の連絡網の整備。

平成22年度の学年の重点目標・具体的な取組

1学年

- 重点目標
高校生としての基本を確立する。
- 具体的な取組
 - ・ 基本的な生活習慣を確立する。
明るく爽やかな挨拶の励行（適切な言動）。
規律ある環境づくり（暴力やいじめのない学年）。
 - ・ 高校生としての自立した学習習慣を確立する。
自ら考え、学習に向かい積極的に行動する力（自学自習）。
夢や希望を持つことの大切さ（学習意欲）。
 - ・ 進路目標を確立する（自己の興味・適性・可能性を探る）。

2学年

- 重点目標
中堅学年としての態度を深化させる。
- 具体的な取組
 - ・ 責任ある言動を目指した基本的な生活習慣を確立する = 生活態度の深化。
明るく爽やかな挨拶の励行、二高生としての正しい服装・頭髪（適切な言動）。
規律ある環境づくり（暴力やいじめのない学年）。
 - ・ 授業中心の学習習慣を確立する = 学習態度の深化。
自ら考え、学習に向かい積極的に行動する力（予習・復習 = 自学自習の励行）。
そのための夢・目標をもたせる（進路指導とリンク）。
 - ・ 進路目標を確立する = 進路目標に向かう態度の深化。
未来地図の修正。
自分で色を塗って未来地図を完成させる。

3学年

- 重点目標
志望進路の達成を図る。
- 具体的な取組
 - ・ 最上級生としての自覚をもたせ、自ら学ぶ態度を持たせる。
 - ・ 適切な進路の選択ができるよう全力を尽くさせる。
 - ・ 学校、家庭生活のリズムを正しく保つ生活習慣を確立させる。

(2) 平成22年度・学校評価アンケート（生徒対象）の集計結果

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる と思う	ほぼあてはまる ほぼと思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	32.5%	51.6%	10.5%	2.4%	3.1%
	B 先生は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）をしてくれていると思いますか。	40.4%	42.2%	10.6%	3.2%	3.5%
	C NSP（土曜出校日）の小論文講座・コース行事は、将来、役に立つ内容だと思いませんか。	16.2%	38.9%	24.9%	14.8%	5.1%
生活	D 二高は、生徒の心身に関する相談体制（カウンセリングなど）が、整備されていると思いますか。	24.9%	41.2%	15.8%	4.2%	14.0%
	E 二高生は明るく学校生活を送っていると思いますか。	31.9%	48.5%	10.8%	3.4%	5.5%
	F 二高生は、服装・髪型がきちんとしており、あいさつが身についていると思いますか。	13.7%	48.2%	26.4%	7.1%	4.7%
	G 先生は生活指導（服装指導・あいさつ・問題行動への対応など）がきちんとしてくれていますか。	31.8%	50.0%	11.7%	3.7%	2.7%
	H 二高では、運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	26.0%	42.6%	18.5%	8.4%	4.5%
I 球技大会・文化祭・体育祭などの学校行事に、積極的に参加していますか。	43.6%	39.4%	11.9%	3.2%	1.9%	
進路指導	J 二高では、生徒の一人一人のことをきちんと把握し、適切な進路指導が行われていると思いますか。	24.4%	50.0%	15.1%	5.0%	5.5%
	K 進路講演会・進路便り・進路センターなどで、進路に関する情報を十分に知ることができましたか。	22.1%	45.9%	18.0%	5.0%	9.0%
その他	L 二高の生徒募集用パンフレットや学校説明会で、二高の特色がわかりましたか。	16.7%	45.7%	20.6%	6.0%	11.0%
	M 二高の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	19.0%	37.5%	21.2%	5.9%	16.4%
	N 二高は、校舎内外の清掃や補修活動など、学校の環境整備に積極的に取り組んでいると思いますか。	20.3%	48.9%	17.4%	5.6%	7.9%
	O 二高は、あなたにとって誇りの持てる学校ですか。	26.6%	44.9%	13.0%	6.8%	8.7%

(3) 平成22年度・学校評価アンケート（保護者対象）の集計結果

評価項目	評価内容	4	3	2	1	0
		よくあてはまる と思う	ほぼあてはまる ほぼと思う	あまりあてはまらない あまりそう思わない	あてはまらない そう思わない	判断できない わからない
学習	A コースの特色に応じた授業や行事が行われ、積極的に勉強できる環境が整えられていると思いますか。	22.6%	61.5%	6.4%	1.4%	8.1%
	B 教員は個別の学習指導（添削・質問への対応・二者面談など）を適切に行っていると思いますか。	21.2%	52.3%	12.7%	2.5%	11.3%
	C NSP（土曜出校日）の小論文講座・授業・コース独自の活動は、生徒にとって有益だと思いませんか。	38.2%	43.8%	11.0%	1.8%	5.3%
	D 教員は授業方法を工夫し、生徒がわかるための授業を行っていると思いますか。	12.0%	50.2%	13.8%	1.8%	22.3%
生活	E 生徒は明るく学校生活を送っていると思いますか。	41.0%	48.4%	7.4%	1.1%	2.1%
	F 生徒の服装・髪型がきちんとしており、挨拶が身についていると思いますか。	18.0%	61.1%	16.6%	1.1%	3.2%
	G 教員による生活指導（服装指導・挨拶・問題行動への対応など）がきちんとして行われていると思いますか。	17.7%	61.1%	10.6%	1.4%	9.2%
	H 運動部および文化部の活動が、積極的に行われていると思いますか。	25.4%	50.9%	16.6%	1.4%	5.7%
進路指導	I 生徒の能力や適正をきちんと把握し、計画的・組織的な進路指導が行われていると思いますか。	16.3%	54.8%	12.0%	1.1%	15.9%
	J 進路講演会・学年保護者懇談会・進路便りによる進路情報の提供が、十分に行われていると思いますか。	17.0%	56.5%	12.7%	2.8%	11.0%
その他	K 講演会・学年保護者懇談会・母親研修会・公開授業日などに、都合が良ければ参加したいと思いますか。	24.0%	53.0%	14.1%	5.7%	3.2%
	L PTAの各種集会について、PR活動や案内文の配布時期は適切だと思いませんか。	18.7%	62.2%	8.8%	0.4%	9.9%
	M 本校の目標・進学実績・教育内容は、市内の他の私立高校とはっきりとした違いがあると思いますか。	29.7%	41.7%	12.0%	1.1%	15.5%
	N 校舎内外の清掃や補修活動など、学校の環境整備に積極的に取り組んでいると思いますか。	16.6%	55.5%	11.0%	1.4%	15.5%
	O 本校の教育内容（授業・進路指導・生活指導）は、総合的に満足できるものですか。	20.1%	61.5%	7.1%	1.1%	10.2%

(4) 平成22年度・自己評価の中間報告 校務分掌の取組についての評価

達成度の段階評価	4	きちんと達成できた	達成度 80%以上
	3	ほぼ達成できた	達成度 50～79%
	2	あまり達成できなかった	達成度 20～49%
	1	全く達成できなかった	達成度 19%以下

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・改善すべき点
教務部	新学習指導要領の実施・入試制度変更にもなう校内における教育計画の改訂・整備をすすめる。	総合的な学習の時間、道徳教育、特別活動については、関連する分掌と協力しながら全体計画を作成し、実施内容の整備を図る。	2	関連する資料を収集し、いくつかの分掌・教科から意見はきいたものの、具体的な様式・記載する内容については未だ検討段階である。進路指導部および生徒指導部と連携し、3年間を見通した全体計画づくりを早急に進めたい。
		調査書の様式変更に対応するために、作成システムの変更を行うとともに、出願に遺漏がないように周知を図る。	4	現役生については、作成システムの変更は既に終了し問題なく対応できている。過年度生については、一部機能を変更してシステムを運用しなければならないものの、大きな支障もなく対応できている。
		センター試験の新方式に対応するために、教育課程表の一部変更を行う。	4	教育課程表の一部を変更する形で作業を進めている。具体的には、地歴・公民科の合計単位数の中で対応案を作成することで、教科・学年主任会議の合意ができています。最終案を速やかに決定し、教材の準備および学年の進路計画に支障がないようにする。
		平成24・25年度入学生に対応するために、教育課程表の改訂に着手する。	2	単に教科・科目の単位数を変更するだけでなく、コースのあり方と連動して作業を進めていかなければならない。今後は、進路指導部・コース委員と意見を交換しながら作業のスピードをあげていきたい。
企画部	入学者250名(定員)を確保する。	広報活動を充実させるために、本校ホームページの内容を充実させ、更新を迅速に行うことを継続する。	3	昨年度より更新回数がかかり増えたが、まだ抜けているところがある。部活動を始め、今後いろいろなニュースを提供することが必要である。
		中学生・保護者に本校を知ってもらう体験イベントの参加者を多く確保する。体験入学1000名、受験講習会500名。	2	美術コースの体験入学申込者は過去最高となったものの、スタンプラリーは減少した。また、二高祭のイベントとリンクさせた効果はあったと思われる。体験入学の日時が、県中総体と重なっているため、来年度は時期をずらした方が増員を期待できる。
管理部	安全な施設の提供と安心して学べる環境の整備を進める。	施設・設備の日常点検・整備をすすめる。	3	法的な点検をしており、予算内でできる修理はしている。今後も校内設備の修理・点検に努めていきたい。
		図書の実と読書の啓蒙、視聴覚教材の充実と活用を進める。	2	今後も「図書だより」等で啓蒙活動を進めていきたい。また、継続して視聴覚教材リストを作成し、内容把握に努めたい。
生徒指導部	服装容儀の徹底を図る。	登校時の玄関指導を各学年で実施する。	4	朝の玄関指導は全学年定着してきているが、容儀の共通理解が必要である。
		毎月の月末に各クラスの「状況しらべ」を実施する。	3	規律安全委員会のアンケートを予定通り実施したが、内容に改善の余地がある。
		ポスター・新聞などを用い、生徒会による呼びかけを行う。	3	計画通り実施できたが、アピールの仕方をもっと工夫したい。
	特別活動を充実させる。	生徒会行事のレベルアップを図る。	4	各行事において、昨年度の反省が十分生かされていた。
生徒会のリーダーシップを養成する。		4	生徒会の各行事において、生徒自ら考えて行動する場面が多く見られた。	
二高祭の一般公開を目指し、明るい校風づくりを推進する。		4	予想以上の来校者を迎えることができたが、来年はより一層の内容の充実を図る。	
予算の工夫や中学校との連携を通して、部活動の活性化を図る。		4	強化費を配分した部の活躍が目覚ましく、部の活性化に貢献してくれた。	
進路指導部	進路指導に関連する項目の関連性を深める。	学習指導項目(模試・講習・ゼミ・合宿)のガイドラインを整備する。	3	学年ごとに工夫がなされており、それらの各指導項目の関連性を一層進める必要がある。
		進路指導項目(講演会・ガイダンス・LHR)の体系化を進める。	3	年間の計画を年度始めに提示できたが、時系列に沿って検証、確認しながら進めたい。
保健部	3年生の麻疹予防接種率を90%以上に高める。	学年集会の場で保健部から予防接種の必要性を訴える。	3	新型インフルエンザと比較しながら麻疹の感染力の強さを生徒に訴え、予防接種の必要性を相当程度感じ取ってもらえたかとは思う。話し方には工夫も必要である。
		「学年だより」の中に接種呼びかけの記事を載せる。	4	学年と連携して記事が掲載できた。
		保健室からのアンケート結果をもとに未接種の生徒に呼びかける。	4	7月アンケート段階で46.8%(昨年度47.2%)である。次回は11月にアンケートを行う。

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点 ・ 改善すべき点
渉 外 部	PTA行事や各種委員会活動への参加率を向上させる。	案内文書の適切かつ確実な配付時期の設定。	4	現時点では、時期を逸することなく案内文書を配布できている。しかし、生徒を通しての配付が、確実に保護者の手に渡っているかには不安が残る。
		出身中学校別PTA委員・役員の連絡網の整備。	1	各種会議への参加、大会事務局としての仕事の遂行で、ほとんど手つかずの状態であったが、現在取り組み始めている。

(5) 平成22年度・自己評価の中間報告 学年の取組についての評価

達成度の段階評価	4	きちんと達成できた	達成度 80%以上
	3	ほぼ達成できた	達成度 50~79%
	2	あまり達成できなかった	達成度 20~49%
	1	全く達成できなかった	達成度 19%以下

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	取組度	取組の評価できる点・改善すべき点
1 学年	高校生としての基本を確立する。	基本的な生活習慣を確立する。 ● 明るく爽やかな挨拶の励行(適切な言動)。	4	挨拶や言動は概ね良好である。改善すべき点は、個人としては消極的な姿勢が多々見られるので、自ら進んで挨拶する積極性を養うことである。
		基本的な生活習慣を確立する。 ● 規律ある環境づくり(暴力やいじめのない学年)。	3	服装・容儀に関しては概ね良好である。改善すべき点は、夏休み以降、やや乱れが見られる服装面や髪型等を注意すること。また、携帯電話の利用上のマナーが不適切な生徒がごく一部見られたので、改めて啓蒙すべき点などである。
		高校生としての自立した学習習慣を確立する。 ● 自ら考え、学習に向かい積極的に行動する力(自学自習)。	2	個々の生徒で大きな差があり全体的に評価するのはきわめて難しいが、自発的な学習がなされていない生徒が多く見られる。授業で学習したことをすぐ身につけようとする気持ちが薄く、常に受身の姿勢である。家庭学習の確立と時間の確保が最も改善すべき点である。
		高校生としての自立した学習習慣を確立する。 ● 夢や希望を持つことの大切さ(学習意欲)。	3	進路について考えるとともに、その目標の実現のために夏期講習や校外学習会への参加、放課後講習、個人添削などに取り組んでいる。
		進路目標を確立する(自己の興味・適性・可能性を探る)。	3	担任との面談やLHR、進路学習などの活動を通して将来の目標や文系理系の選択などに関して意識を高めつつある。
2 学年	中堅学年としての態度を深化させる。	責任ある言動を目指した基本的な生活習慣を確立する = 生活態度の深化。 ● 明るく爽やかな挨拶の励行、二高生としての正しい服装・髪型(適切な言動)。	4	朝の玄関指導や集会時の髪型指導において、正しくない者に対しては、期限を定めて直して来るように指導している。
		責任ある言動を目指した基本的な生活習慣を確立する = 生活態度の深化。 ● 規律ある環境づくり(暴力やいじめのない学年)。	4	職員室に入る際の言葉遣い、教員への言動・態度についても指導している。昼休み・放課後に巡回指導を行い、細かい変化に対応できるように情報交換も行っている。
		授業中心の学習習慣を確立する = 学習態度の深化。 ● 自ら考え、学習に向かい積極的に行動する力(予習・復習 = 自学自習の励行)。	4	全クラスを対象にして生活記録の記入・チェックを実施し、自宅学習時間を作るように指導している。予習・復習ができるように課題・小テストを行い、達成感を持たせることにより自信をつけさせる指導をしている。
		授業中心の学習習慣を確立する = 学習態度の深化。 ● そのための夢・目標をもたせる(進路指導とリンク)。	4	学部志望別ガイダンス・医療系講習会など、週1回昼休みを利用して勉強会を実施している。志望についての知識を深めることにより、目標達成に向けての学習方法などをより具体的に組み立てるものになっている。
		進路目標を確立する = 進路目標に向かう態度の深化。 ● 未来地図の修正。	2	2学年前半において進路目標が設定できるように、様々な企画を立てて実施してきている。後半には、より具体的に学校研究を行い志望を固めていけるように指導していきたい。
進路目標を確立する = 進路目標に向かう態度の深化。 ● 自分で色を塗って未来地図を完成させる。	2	2学年前半において進路目標が設定できるように、様々な企画を立てて実施してきている。後半には、より具体的に学校研究を行い志望を固めていけるように指導していきたい。		
3 学年	志望進路の達成を図る。	最上級生としての自覚をもたせ、自ら学ぶ態度を持たせる。	3	授業態度は概ね良好である。居残り学習や添削を受けている生徒も増加し、自ら学ぶ姿勢も見受けられるようになった。まだ始業ベルが守られていない時があるので、授業担当者が早めに授業に向かうなど、生徒へ促す必要がある。
		適切な進路の選択ができるよう全力を尽くさせる。	3	二者面談や三者面談の成果もあり、ここまでほとんどの生徒が第1志望の進路を設定しており、良好である。掲示物の動きかけもあり、進路センターを利用する生徒も増加し、意欲的に進路達成に取り組んでいる。
		学校、家庭生活のリズムを正しく保つ生活習慣を確立させる。	3	今年度になり、遅刻・欠席の常習者が減少しているため、良好といえる。少数ではあるが遅刻・欠席を繰り返す生徒もいる。面談を通して改善を図るとともに、進路についての目標をもたせるようにしていきたい。服装面に関して、集会等ではよくできているが、授業や休み時間の部分では決して良い状態とは言えない生徒がいる。朝の登校指導や見回りなども今一度しっかりやっていく必要がある。

(6) 平成22年度・自己評価の最終報告 学校経営計画の達成についての評価

達成度の段階評価	4	きちんと達成できた	達成度 80%以上
	3	ほぼ達成できた	達成度 50~79%
	2	あまり達成できなかった	達成度 20~49%
	1	全く達成できなかった	達成度 19%以下

今年度の指導の重点 (今年度の学校目標達成のため、今年度、重点的に取り組むべきもの)		達成度	次年度に - 継続していきたい成果・改善すべき課題
(1) 学習指導の充実	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力の向上を図る。	3	キャリア教育や体験講義等を通して、将来の夢を具体化させるプログラムが定着しつつある。生徒個々の夢に達成するための目標をスモールステップで配置し、学習意欲の喚起に繋げる必要がある。また、授業への集中力を高める方策もさることながら、学習絶対量の不足を改善するための、学習課題の量や提示方法などの工夫が求められる。
(2) 生活指導の徹底	明るく節度を弁えた生徒を育てる。(挨拶、品位ある服装、時間厳守)	3	挨拶の励行は身につけてきたが、職員室の入退室等における身なりや作法はまだ改善の余地があり、リボンやネクタイなど服装指導を継続する必要がある。遅刻等はいくら改善したものの、家庭との連携をさらに強め、基本的な生活習慣の確立に努めなければならない。
(3) 進路指導の充実	生徒一人ひとりの能力を的確に把握し、計画的・組織的な進路指導を実施する。	3	生徒の全体的な状況を踏まえた指導方法までできているが、外部模試等データから個々の生徒がクリアすべき課題をくみ取り、個別の指導へ繋げるまでには至っていない。生徒の目標と現状を把握し、生徒一人一人に対して教科・学年・分掌が三位一体となった指導を心がけるべきである。
(4) 特別活動の振興	学校生活にうおいと喜びを見だし、人間力の向上を願って、特別活動への積極的な参加を促す。	3	部活動は、運動部も文化部も健闘しているが、部員の減少が気にかかる。学校行事では二高祭を一般公開するなど、生徒の活動を外部にアピールすることができた。学外活動は活発になってきているが、活動範囲が小集団レベルに留まっており、生徒全体の活動レベルアップできるようにしていく必要がある。
(5) 研修の充実	教師は常にその資質と指導力の向上に精励し、一致協力して学校力の向上を図る。	3	今年度の県私学研修会には全教員が参加し、教員の全体的な資質向上が図られた。外部で行われる研修だけではなく、研修の機会はいつでもどこでもあり得るので、教員がお互いに切磋琢磨し、常に資質向上に心がけるムードを醸成する必要がある。

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取り組むべきもの)	達成度	次年度に - 継続していきたい成果・改善すべき課題
教務部	新学習指導要領の実施・入試制度変更にもともなう校内における教育計画の改訂・整備をすすめる。	総合的な学習の時間、道徳教育、特別活動については、関連する分掌と協力しながら全体計画を作成し、実施内容の整備を図る。	2	関連する資料は収集し、いくつかの分掌・教科から意見はきいたものの、具体的な様式・記載する内容の作成には至っていない。次年度ではなく、今年度の残された期間内での作成をめざしたい。
		調査書の様式変更に対応するために、作成システムの変更を行うとともに、出願に遺漏がないように周知を図る。	4	現役生および過年度生について、作成システムの変更は既に終了し、不具合もなく問題なく対応できている。今後は新しい指導要領の様式と調査書の様式を、どのように関連づけるかを検討する。
		センター試験の新方式に対応するために、教育課程表の一部変更を行う。	4	現行の教育課程表において、地歴・公民科のみ科目設定・単位数の変更を行った。今後は当該学年や進路指導部と連携し、教材の準備や生徒の受験指導に遺漏がないようする。
		平成24・25年度入学生に対応するために、教育課程表の改訂に着手する。	3	単に教科・科目の単位数を変更するだけでなく、コースのあり方と連動して作業を進める。教務部の草案をもとに、今後は進路指導部・コース委員と意見を交換しながら作業のスピードをあげていく。
企画部	入学者250名(定員)を確保する。	広報活動を充実させるために、本校ホームページの内容を充実させ、更新を迅速に行うことを継続する。	3	昨年度に比べ、更新回数は確実に増えた点は評価できる。しかし、更新する分掌なり人が固定化される傾向が出てきており、場合によって来年度以降は、各学年にHP担当者を配置するとかの手立てを、考える必要があるかもしれない。 一方、本校HPはこの1年半ほどでヒット数が20万件を超えた。これは喜ぶべきことでもあり、また、身の引き締まる思いも同時に喚起させる。今後は、保護者の皆さんがダウンロードサービスを得られるように、保護者向けの案内文書を即座にHP上に掲示するなどの工夫が必要だという意見が多く寄せられた。
		中学生・保護者に本校を知ってもらう体験イベントの参加者を多く確保する。体験入学1000名、受験講習会500名。	2	夏の体験入学、冬の受験講習会共に目標数には至らなかった。しかし、夏の体験入学に関しては本校の文化祭と関連させた形で、イベントの雰囲気や中学生の皆さんにも少しは味わってもらえたかと思う。また、受験講習会も昨年度に比べて60人ほどの増加(生徒39人増、保護者25人増)が見られた。「二高にまた来たい」「二高ってすごくよさそう」という思いをもっと多くの皆さんに抱いてもらう工夫がさらに必要となる。
管理部	安全な施設の提供と安心して学べる環境の整備を進める。	施設・設備の日常点検・整備をすすめる。	4	法的な点検は、年間を通じて実施してきた。他の施設・設備の点検・修理とも、日々続けていきたい。
		図書の実用と読書の啓蒙、視聴覚教材の充実と活用を進める。	3	今後も「図書たより」などで、読書の啓蒙活動をしていきたい。LL教室・視聴覚ソフトに関しては、教科との連携を深め、管理・活用していきたい。

担当	今年度の分掌目標 (今年度の指導の重点達成のため、分掌で掲げた目標)	今年度の具体的取組 (今年度の分掌目標達成のため、具体的に取組むべきもの)	達成度	次年度に — 継続していきたい成果 ・ 改善すべき課題
生徒指導部	服装容儀の徹底を図る。	登校時の玄関指導を各学年で実施する。	4	朝の玄関指導は全学年定着してきているが、容儀の共通理解が必要である。
		毎月の月末に各クラスの「状況しらべ」を実施する。	3	規律安全委員会のアンケートを予定通り実施したが、内容に改善の余地がある。
		ポスター・新聞などを用い、生徒会による呼びかけを行う。	3	計画通り実施できたが、アピールの仕方をもっと工夫したい。
	特別活動を充実させる。	生徒会行事のレベルアップを図る。	4	各行事において、昨年度の反省が十分生かされていた。
		生徒会のリーダーシップを養成する。	4	生徒会の各行事において、生徒自ら考えて行動する場面が多く見られた。
		二高祭の一般公開を目指し、明るい校風づくりを推進する。	4	予想以上の来校者を迎えることができたが、来年はより一層の内容の充実を図る。
		予算の工夫や中学校との連携を通して、部活動の活性化を図る。	4	強化費を配分した部の活躍が目覚ましく、部の活性化に貢献してくれた。
進路指導部	進路指導に関連する項目の関連性を深める。	学習指導項目（模試・講習・ゼミ・合宿）のガイドラインを整備する。	3	学年毎に取り組みされた今年度の内容の中で、年度にかかわらずに踏襲できる部分を明文化して、次年度以降に繋げる。
		進路指導項目（講演会・ガイダンス・LHR）の体系化を進める。	3	拡大進路部会（学年間連携会議）の恒常化はできたが、もっと密に連携することで、各催し物の有効性を高めていきたい。
保健部	3年生の麻疹予防接種率を90%以上に高める。	学年集会の場で保健部から予防接種の必要性を訴える。	3	新型インフルエンザ・季節性インフルエンザと比較しながら、麻疹の感染力の強さ・怖さを生徒に伝え、予防接種の必要性を印象付けること。教員にとっては同じ話に聞こえたとしても、生徒は初めて接する話であり、手は抜けない。
		「学年だより」の中に接種呼びかけの記事を載せる。	4	学年と連携して掲載していきたい。
		保健室からのアンケート結果をもとに未接種の生徒に呼びかける。	4	前年度と同様に7月、11月、1月にアンケートを実施し、接種率を把握していきたい。
渉外部	PTA行事や各種委員会活動への参加率を向上させる。	案内文書の適切かつ確実な配付時期の設定。	4	継続して適切な時期に案内文を配布する。ホームページ利用も考えたい。
		出身中学校別PTA委員・役員の連絡網の整備。	3	次年度は6月には配布したい。